

# TOSHIBA

Leading Innovation >>>

---

# 2008年度 第3四半期決算 (9ヵ月累計)

2009年 1月29日

株式会社 **東芝**

代表執行役専務 村岡 富美雄

---

## 注意事項

- この資料には、東芝の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- また、多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）を含んでいます。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て9ヵ月累計です。

## 概要

単位：億円

摘 要	08年度	07年度	差
			対07年度
売 上 高	49,841	55,684	-5,843
営 業 損 益	-1,823	1,246	-3,069
%	-3.7%	2.2%	-5.9%
税 引 前 損 益	-2,060	2,263	-4,323
%	-4.1%	4.1%	-8.2%
当 期 純 損 益	-1,596	1,262	-2,858
%	-3.2%	2.3%	-5.5%
基 本 的 1 株 当 た り 当 期 純 損 益	-49円32銭	39円09銭	-88円41銭

## 今回の決算のポイント

(対07年度)

- 前年同期比で減収・減益(赤字計上)

売上高	49,841億円	(-5,843億円、-11%)
営業損益	-1,823億円	(-3,069億円)
税引前損益	-2,060億円	(-4,323億円)
当期純損益	-1,596億円	(-2,858億円)

- \* 想定以上の売価ダウン及び需要減により、電子デバイスが大幅に悪化

売上高	10,809億円	(-2,430億円)
営業損益	-1,978億円	(-2,667億円)

- \* 景気後退の影響を受け、デジタルプロダクツが悪化

売上高	19,540億円	(-2,746億円)
営業損益	14億円	(-52億円)

- \* 社会インフラも伸び悩み

売上高	15,873億円	(-105億円)
営業損益	353億円	(+8億円)

## セグメント情報

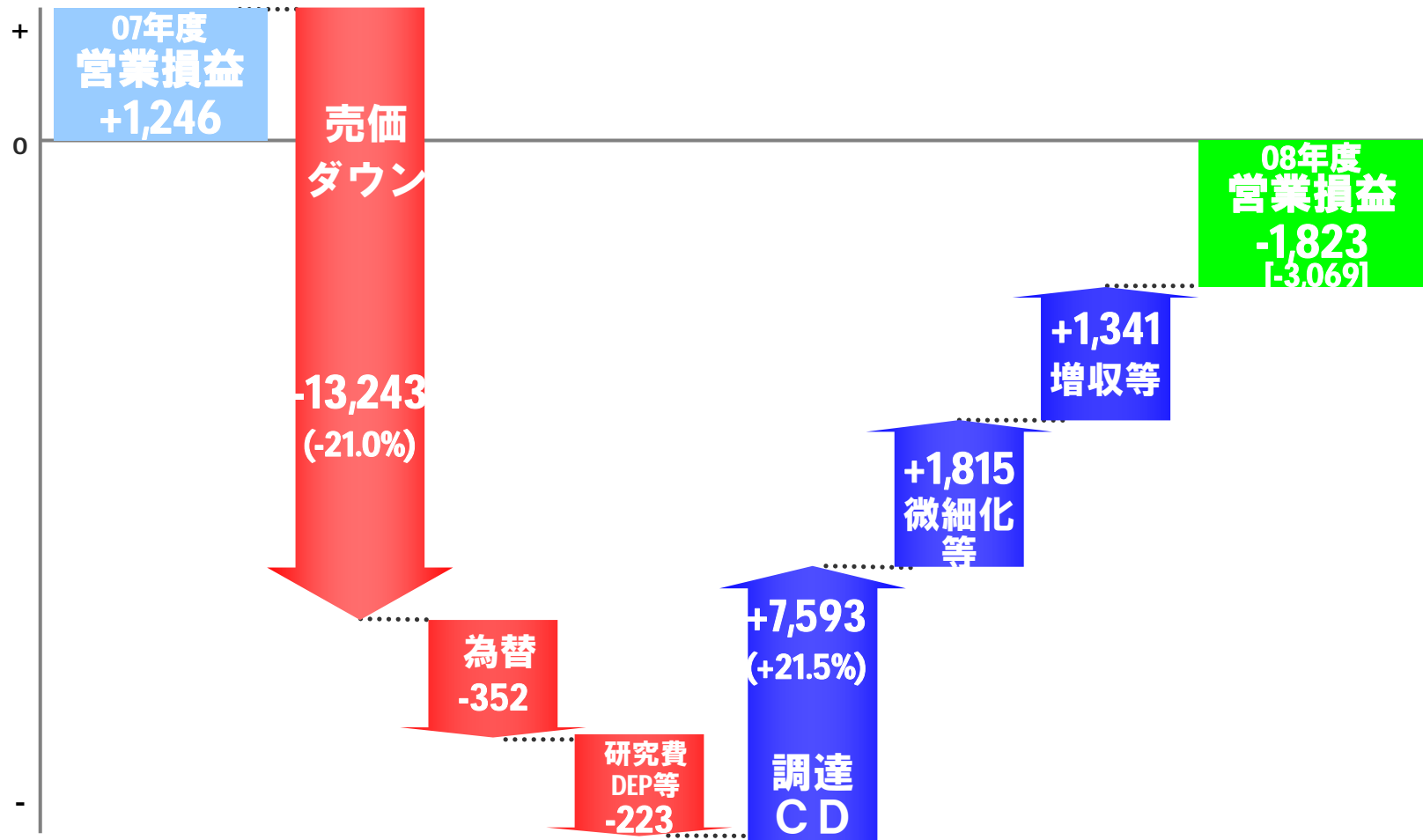
単位: 億円

売上高	08年度	07年度	差
			対07年度
デジタルプロダクツ	19,540	22,286	-2,746
電子デバイス	10,809	13,239	-2,430
社会インフラ	15,873	15,978	-105
家庭電器	5,242	5,760	-518
その他	2,594	2,876	-282
連結計	49,841	55,684	-5,843

営業損益	08年度	07年度	差
			対07年度
デジタルプロダクツ	14	66	-52
%	0.1%	0.3%	-0.2%
電子デバイス	-1,978	689	-2,667
%	-18.3%	5.2%	-23.5%
社会インフラ	353	345	8
%	2.2%	2.2%	0.0%
家庭電器	-154	20	-174
%	-2.9%	0.3%	-3.2%
その他	-57	129	-186
%	-2.2%	4.5%	-6.7%
連結計	-1,823	1,246	-3,069
%	-3.7%	2.2%	-5.9%

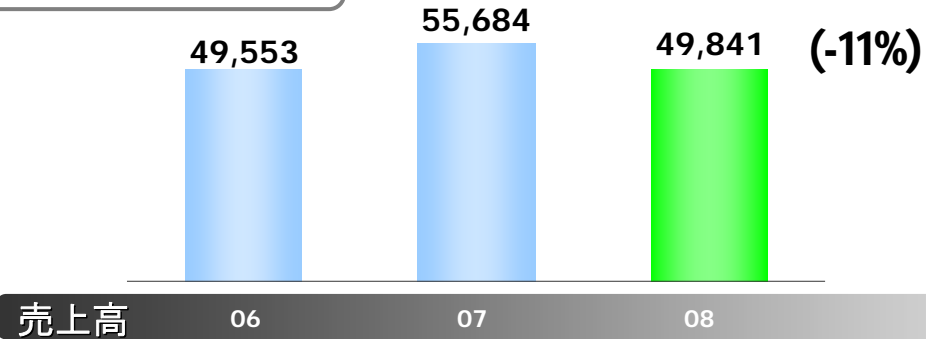
# 営業損益分析

単位: 億円  
(対07年度)

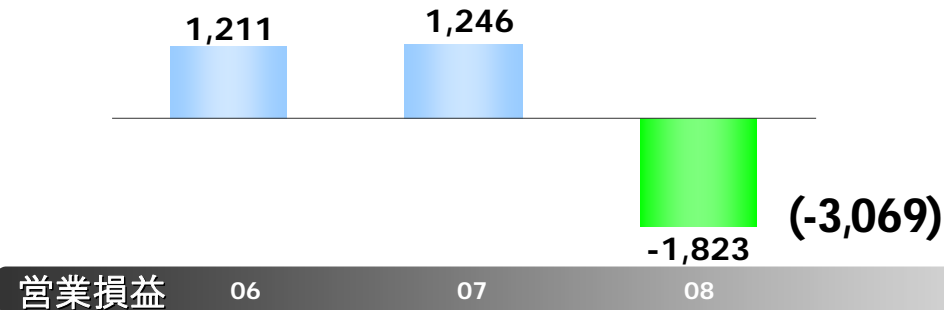


# 決算レビュー

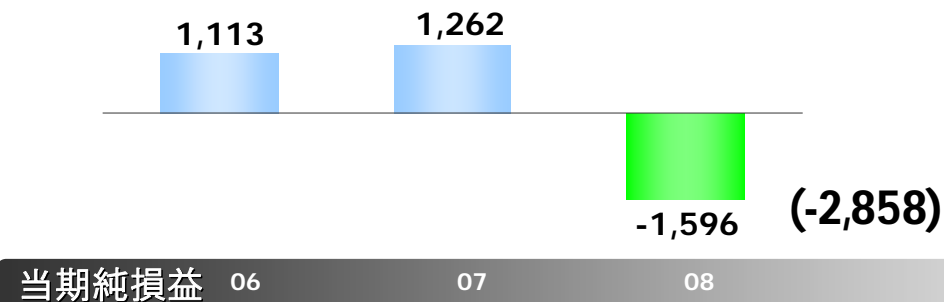
単位: 億円  
(対07年度)



■ 売上高: 減収  
全セグメントで減収



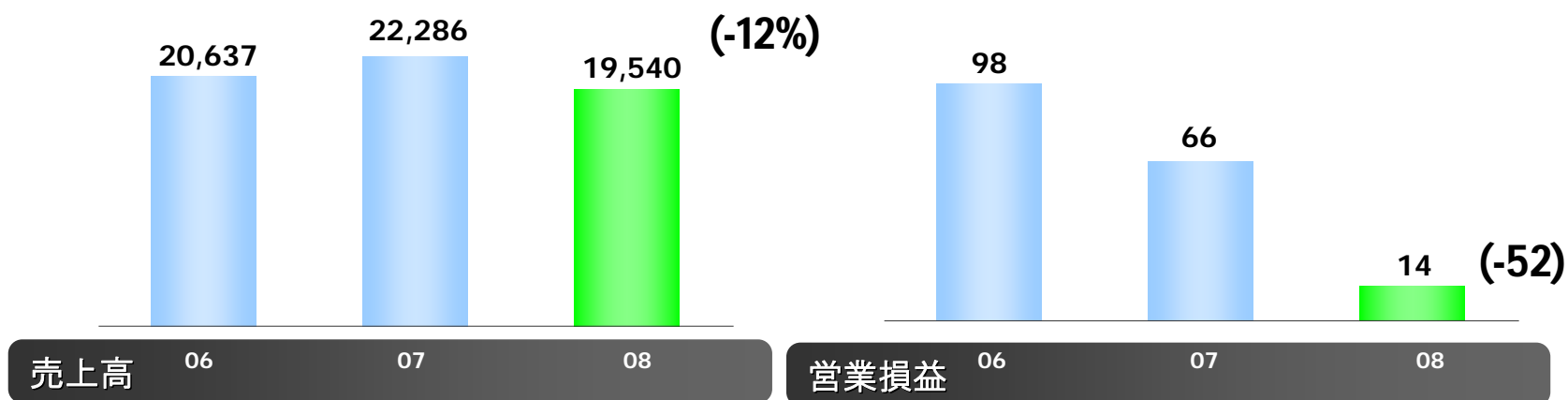
■ 営業損益: 赤字  
電子デバイス、家庭電器、デジタル  
プロダクツが減益、社会インフラは増益



■ 当期純損益: 赤字

## デジタルプロダクツ

単位: 億円  
(対07年度)



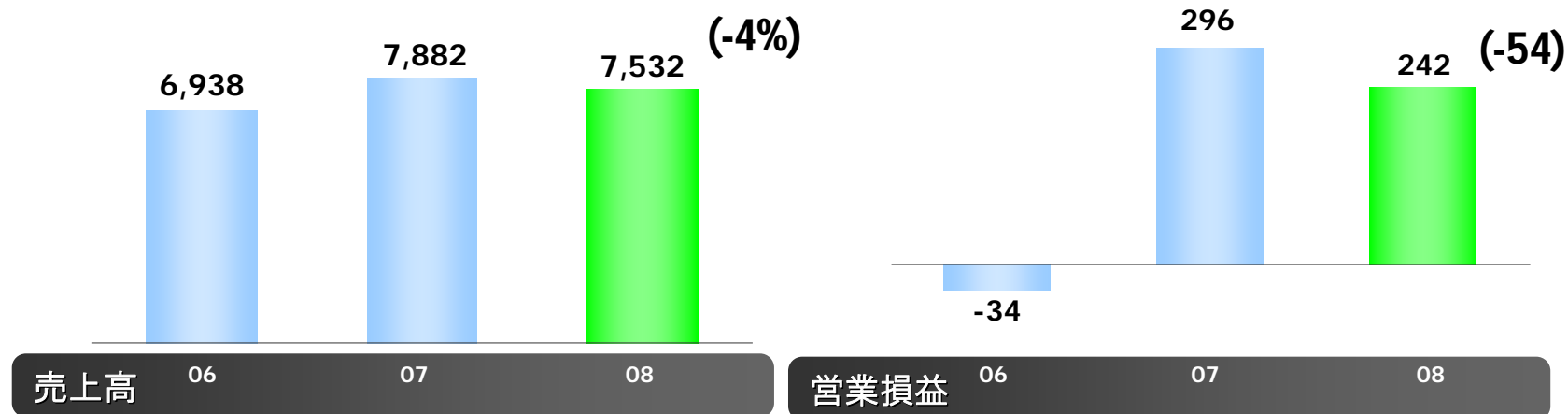
■ TV、PC、携帯電話、流通・事務用機器は、景気後退の影響を受け、いずれも減収

■ 価格下落、為替、携帯電話市場の低迷等の影響により減益



PC

単位: 億円  
(対07年度)

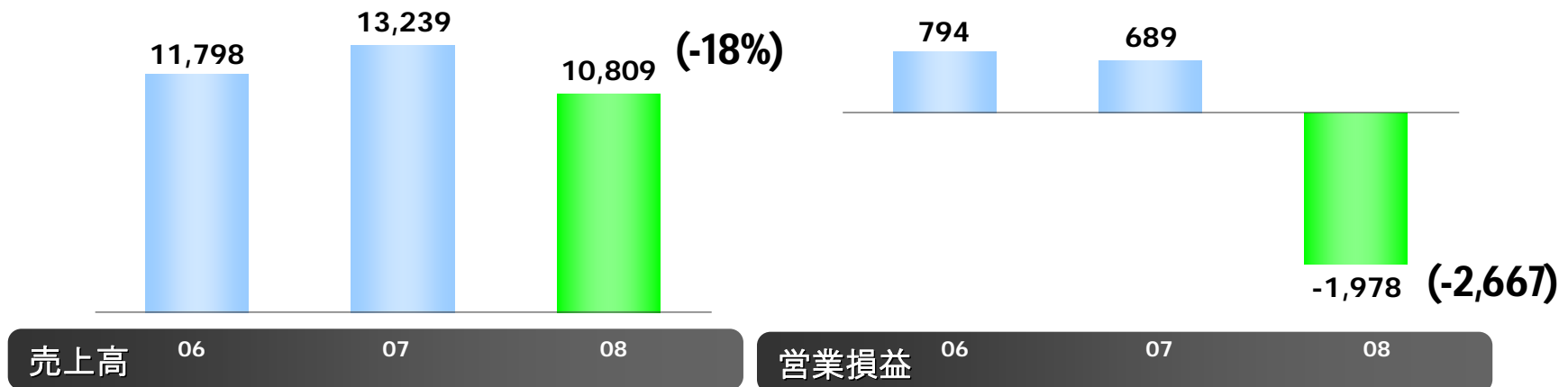


■ 売価ダウン、低価格化、ユーロ安の影響により減収

■ 価格下落、ユーロ安の影響により減益

## 電子デバイス

単位: 億円  
(対07年度)

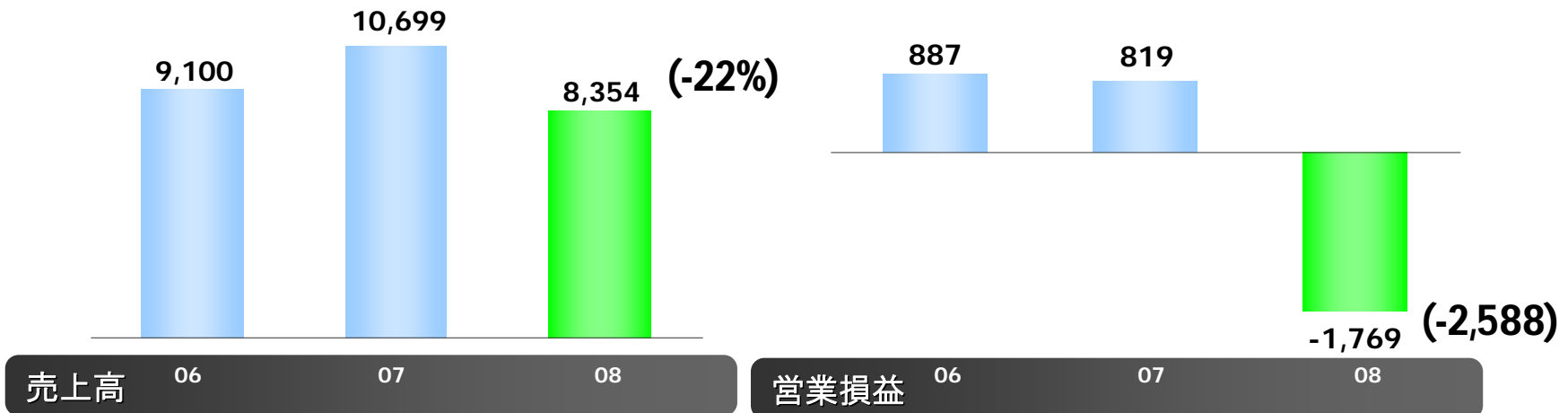


■ NAND型フラッシュメモリの価格下落、システムLSI、ディスクリット、液晶の需要減により大幅な減収

■ 半導体、液晶の悪化により大幅に赤字

## 半導体

単位: 億円  
(対07年度)



■ NAND型フラッシュメモリの価格下落、円高の影響や市場の収縮による半導体需要の減少により減収

■ NAND型フラッシュメモリの価格下落、システムLSI事業の不振により大幅赤字

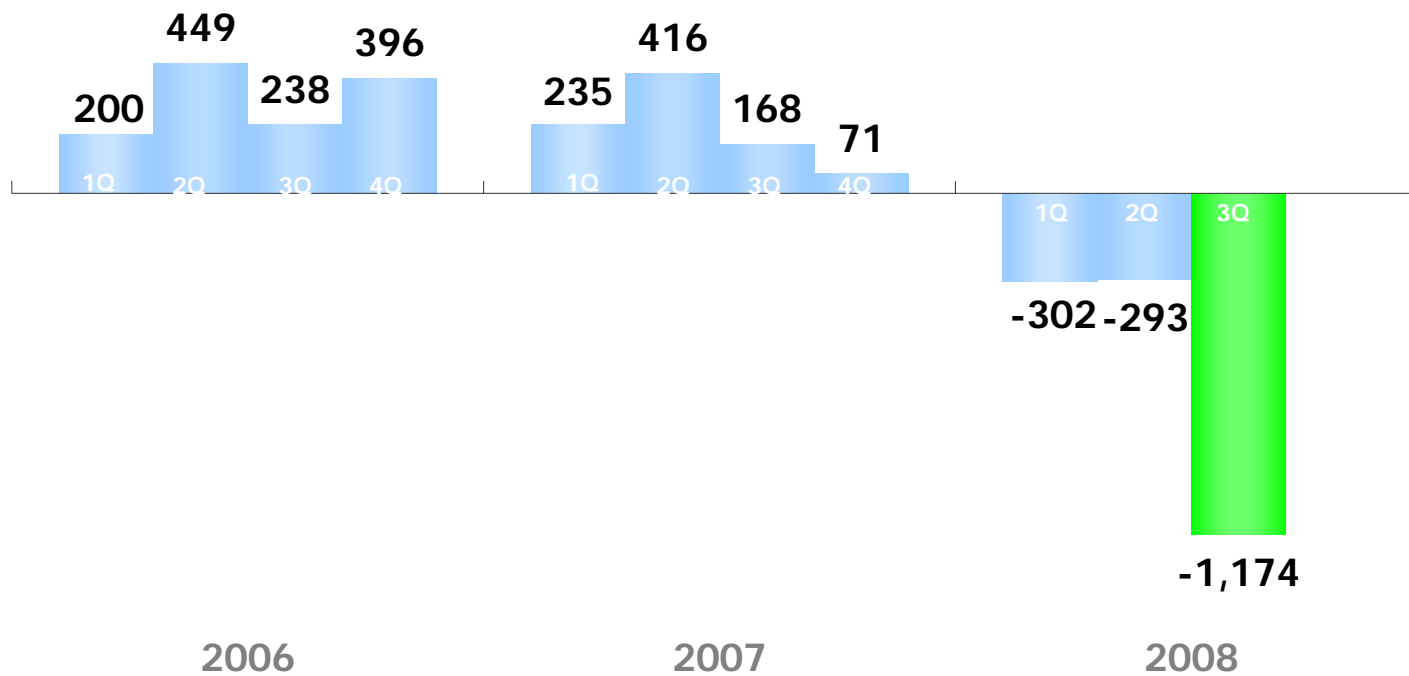
## 半導体 内訳

単位: 億円

売上高	08年度	07年度	対07年度
ディスクリート	1,650	1,865	-215
システムLSI	3,475	4,702	-1,227
メモリ	3,229	4,132	-903
半導体計	8,354	10,699	-2,345
営業損益	08年度	07年度	対07年度
半導体計	-1,769	819	-2,588
%	-21.2%	7.7%	-28.9%

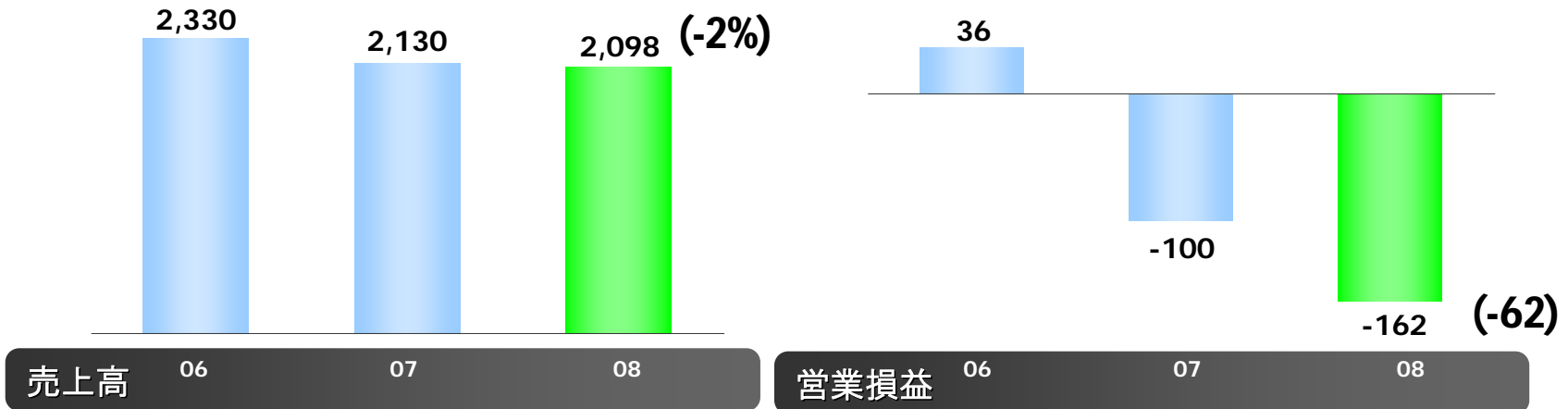
## 半導体 四半期別損益トレンド

単位: 億円



# 液晶

単位: 億円  
(対07年度)

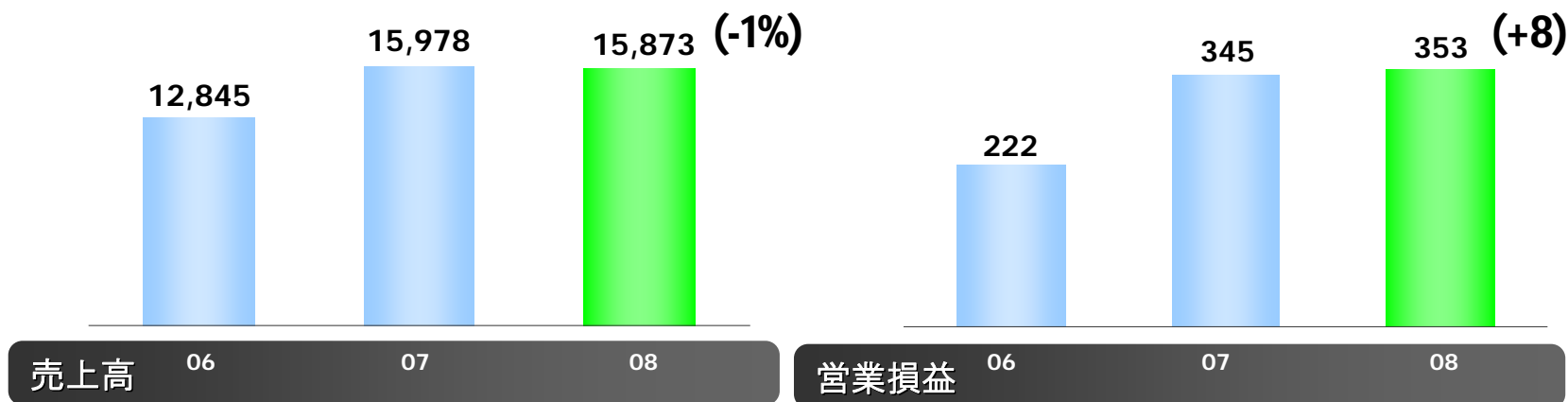


■ 車載向け、PC向けの価格下落、需要減、円高の影響により減収

■ 価格下落、数量減、円高により悪化

## 社会インフラ

単位: 億円  
(対07年度)

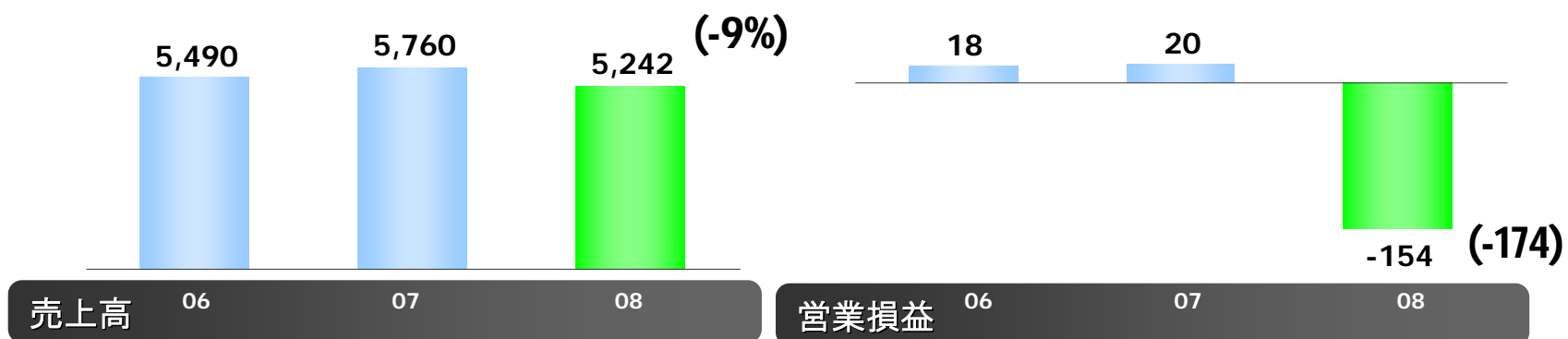


■ 電力・産業システムが堅調も、社会システム、医用システムが減収

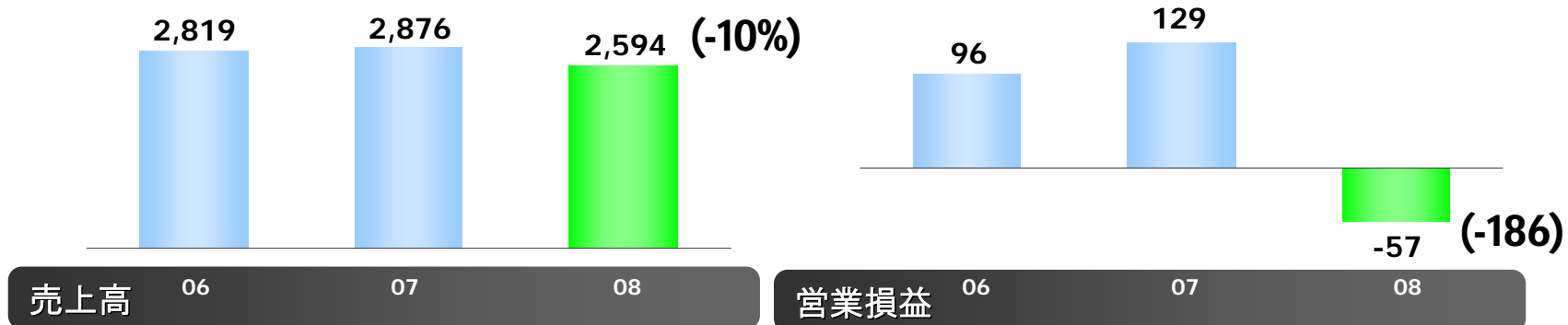
■ 電力・産業システムが好調で、医用システムも引き続き高水準を維持し前年同期並みを確保

## 家庭電器

単位: 億円  
(対07年度)



## その他





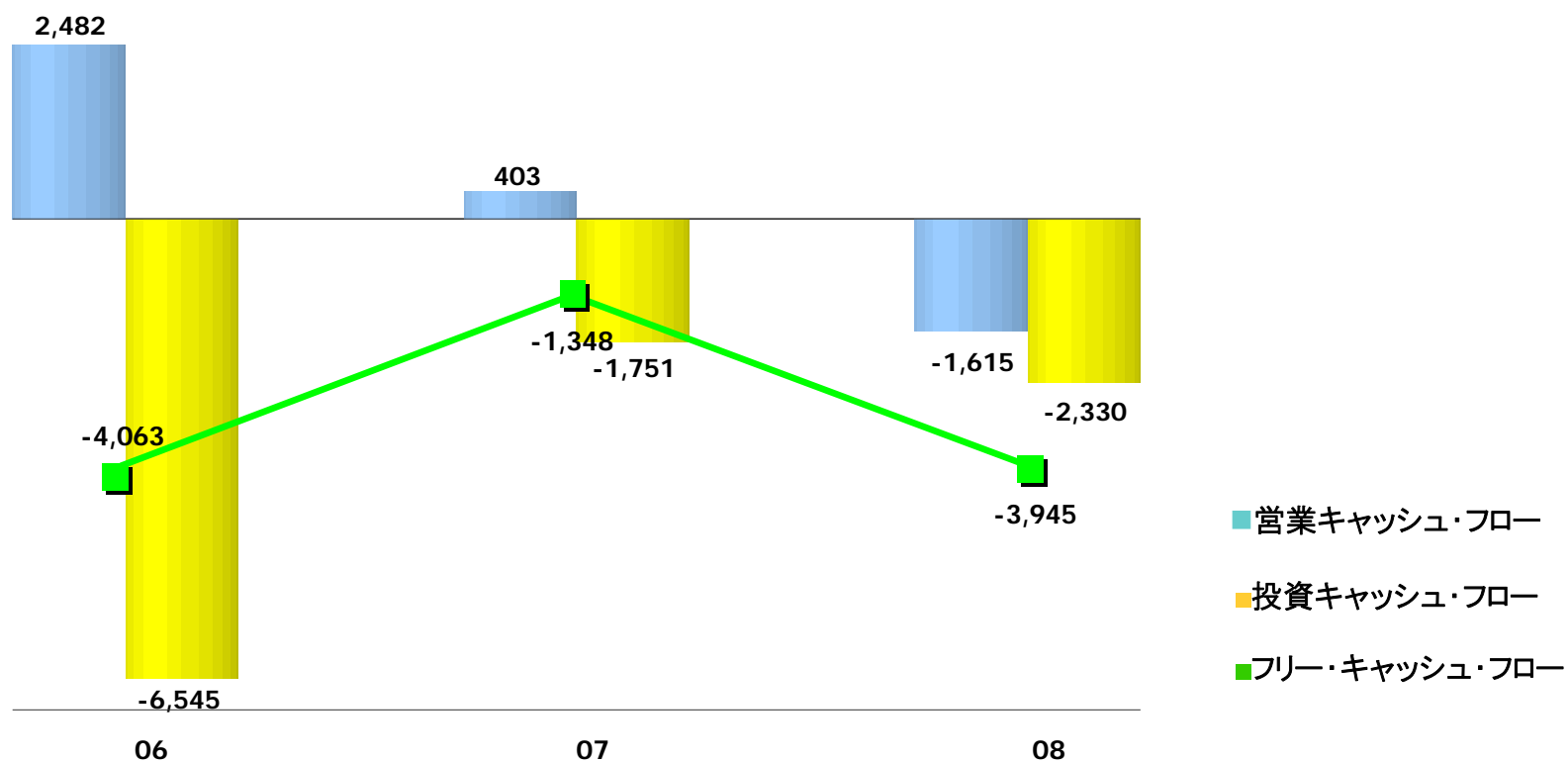
## 営業外損益

単位: 億円

	08年度	07年度	差
			対07年度
有価証券売却損益	758	257	501
固定資産売却損益	-36	1,362	-1,398
持分法投資損益	54	192	-138
為替決済差損益	-416	-55	-361
金融収支	-106	-124	18
減価償却制度変更による影響	0	-350	350
有価証券評価損	-327	-6	-321
モバイル放送事業終息費用	-169	0	-169
その他	5	-259	264
営業外損益計	-237	1,017	-1,254

# キャッシュ・フロー

単位: 億円

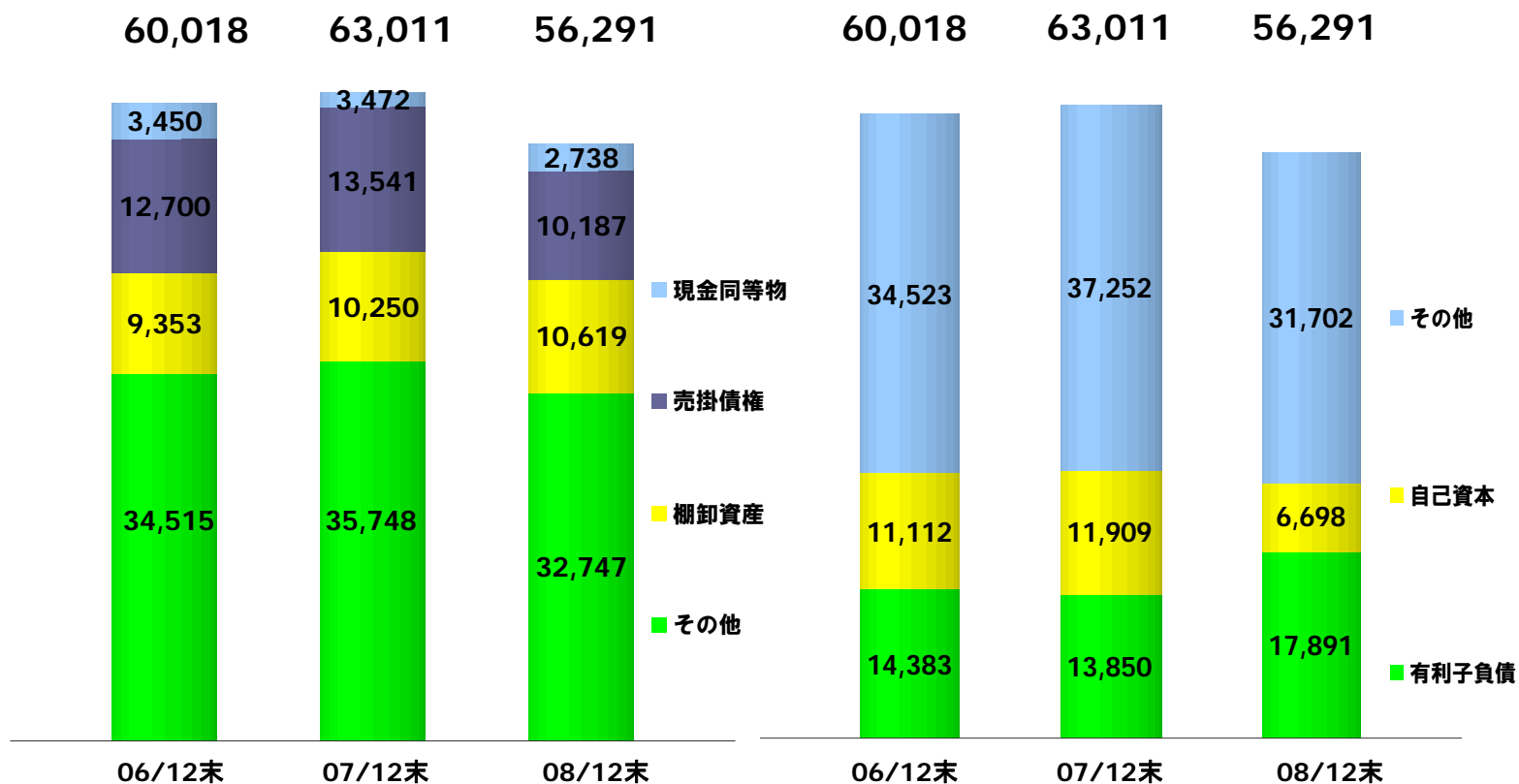


# 貸借対照表

単位：億円

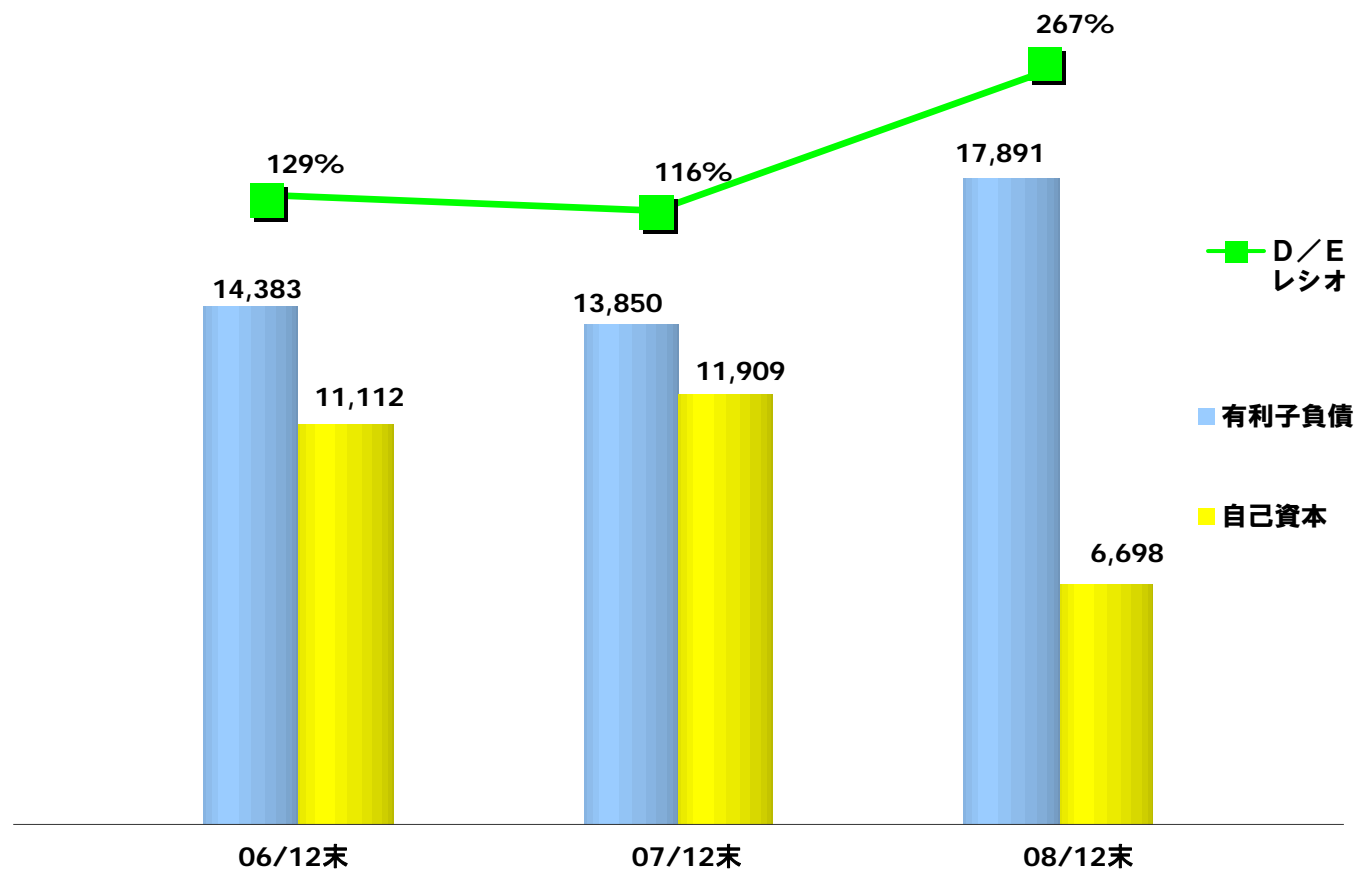
## 資産

## 負債・資本



# DEレシオ

単位: 億円



## 概要 08年度業績見通し

単位：億円

摘 要	08年度	07年度	計画	差	
				対07年度	対計画
売上高	67,000	76,681	77,000	-9,681	-10,000
営業損益	-2,800	2,381	1,500	-5,181	-4,300
%	-4.2%	3.1%	1.9%	-7.3%	-6.1%
税引前損益	-3,300	2,556	1,700	-5,856	-5,000
%	-4.9%	3.3%	2.2%	-8.2%	-7.1%
当期純損益	-2,800	1,274	700	-4,074	-3,500
%	-4.2%	1.7%	0.9%	-5.9%	-5.1%

## 08年度業績見通し

(対9月公表)

- グローバルでの急速かつ深刻な景気後退により大幅な修正
  - 売上高 67,000億円 (−10,000億円、−13%)
  - 営業損益 −2,800億円 (−4,300億円)
  - 税引前損益 −3,300億円 (−5,000億円)
  - 当期純損益 −2,800億円 (−3,500億円)
- \* 電子デバイス、デジタルプロダクツの悪化が主因
  - 電子デバイス 営業損益 −3,400億円 (−2,750億円)
    - 内、半導体 営業損益 −2,900億円 (−2,250億円)
  - デジタルプロダクツ 営業損益 −200億円 (−900億円)
- \* 社会インフラも減速
  - 営業損益 1,200億円 (−300億円)

## 概要 第3四半期

単位：億円

摘 要	08年度	07年度	差
			対07年度
売 上 高	14,883	18,785	-3,902
営 業 損 益	-1,588	421	-2,009
%	-10.7%	2.2%	-12.9%
税 引 前 損 益	-1,425	1,495	-2,920
%	-9.6%	8.0%	-17.6%
当 期 純 損 益	-1,211	805	-2,016
%	-8.1%	4.3%	-12.4%

## セグメント情報 08年度業績見通し

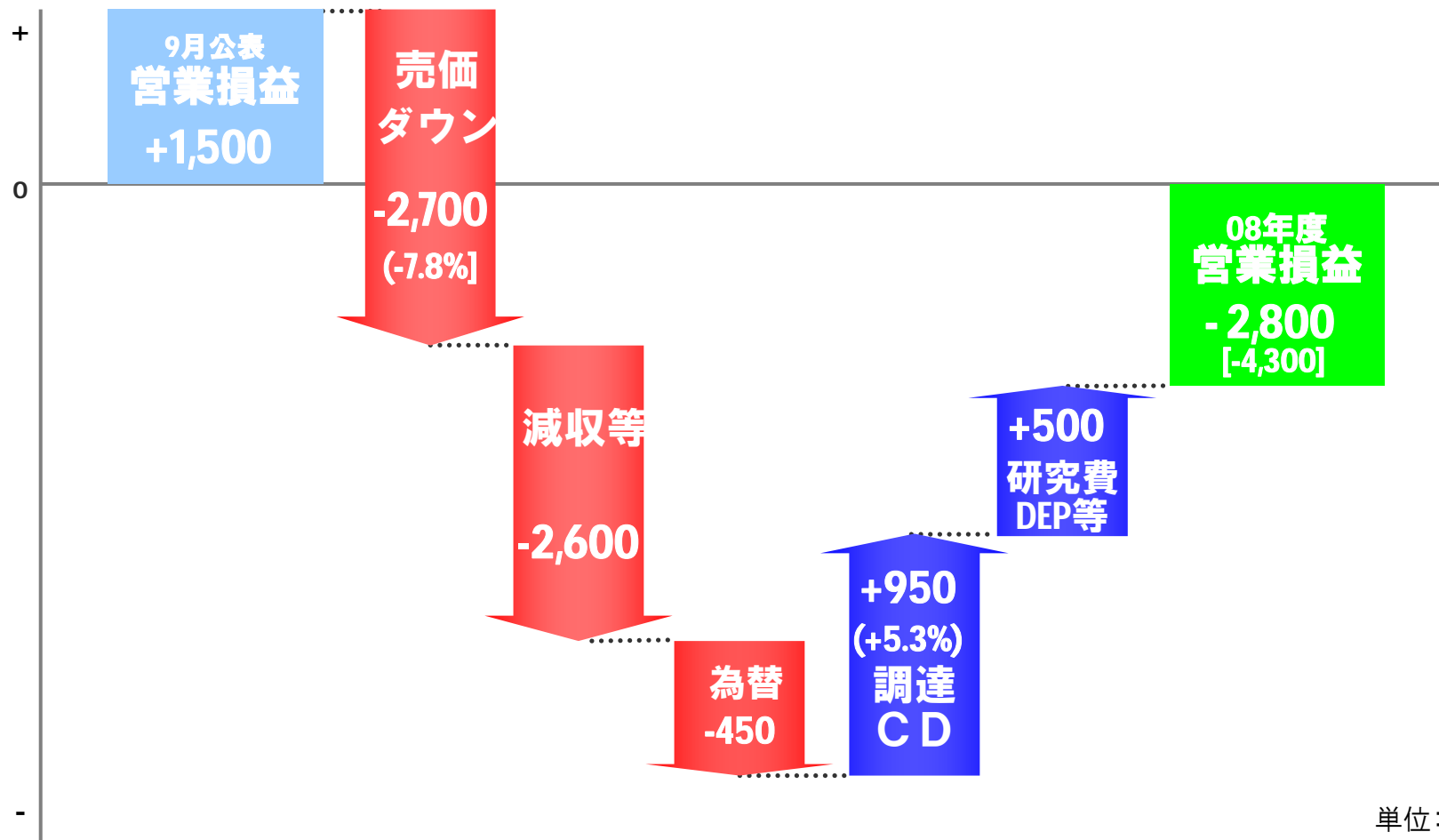
単位: 億円

売上高	08年度	07年度	計画	差	
				対07年度	対計画
デジタルプロダクツ	24,800	29,512	29,600	-4,712	-4,800
電子デバイス	13,100	17,385	16,600	-4,285	-3,500
社会インフラ	24,000	24,190	25,500	-190	-1,500
家庭電器	6,800	7,743	7,700	-943	-900
その他	3,400	3,846	3,500	-446	-100
連結計	67,000	76,681	77,000	-9,681	-10,000

営業損益	08年度	07年度	計画	差	
				対07年度	対計画
デジタルプロダクツ	-200	150	700	-350	-900
%	-0.8%	0.5%	2.4%	-1.3%	-3.2%
電子デバイス	-3,400	741	-650	-4,141	-2,750
%	-26.0%	4.3%	-3.9%	-30.3%	-22.1%
社会インフラ	1,200	1,313	1,500	-113	-300
%	5.0%	5.4%	5.9%	-0.4%	-0.9%
家庭電器	-300	39	0	-339	-300
%	-4.4%	0.5%	0.0%	-4.9%	-4.4%
その他	-100	147	-50	-247	-50
%	-2.9%	3.8%	-1.4%	-6.7%	-1.5%
連結計	-2,800	2,381	1,500	-5,181	-4,300
%	-4.2%	3.1%	1.9%	-7.3%	-6.1%



## 営業損益分析 対9月公表



単位: 億円  
(対9月公表)

2009年度の収益改善に向けて

2008年度は経営環境が急激に悪化

2009年度も厳しい経営環境が継続

- 売上規模が2008年度レベルでも利益確保が可能な収益体質へ転換
- 市況回復時に素早く対応できる事業体制の構築

体質改革プログラムの実行

2009年度の黒字化を実現

## 体質改革プログラムの実行

### 1. 課題事業における事業構造改革

- 半導体事業の構造改革
- 液晶事業の構造改革
- その他課題事業（デジタルプロダクツ、家電等）についても同時に検討

### 2. 体質強化に向けた全社施策

- 徹底した固定費削減  
対08年度 3,000億円削減
- 利益造出に向けた施策（コスト競争力強化・海外事業拡大等）

### 3. 成長事業への集中と選択の加速

- 社会インフラ事業へ経営資源をシフト
- 新規事業の加速（環境・エネルギー分野等）

---

# **TOSHIBA**

## **Leading Innovation >>>**